

ゴリラ日記



その十 ○月△日 遊び

八月の終わりに「ゴ、モモタロウとゲンタロウが引越して初めて、以前のように遊び始めました。このとき私は、残念ながら見ていなかったのですが、モモタロウ達をいつも見に来てくれているお客様が、慌てて私に伝えに来てくれたのです。

九月に入ると遊んでいるゴ、モモタロウが、数回目撃されるようになりました。

ある休園日の風前にガラスを拭いていると、ゲンタロウがゴ、モモタロウに遊びに来ました。その後ろをモモタロウがついてきたので、もしかしたら「遊ぶかもっ」と思いつつガラスを拭きながら、ゴ、モモタロウを見ていたと、モモタロウが石の上で横になりました。ゲンタロウはモモタロウの顔を覗き込んだり、体の周りをぐるぐる回ったりしてました。ゴ、モモタロウは遊びたいと思っただけで、しかしモモタロウは起きません。「おかしいな」と思っただけで、仕方なくゴ、モモタロウは起きませんでした。誰んたら誰まれたらいい遊んでいきます。二頭

とも本当に楽しんでます。モモタロウは、本当は遊びたい気持ちを隠して「仕方ない遊んだらわ〜」とゴ、モモタロウにも言っただけで思えます。その日を合めて毎日連続で遊びが見られて、これから楽しんでみたいだ先ず、モモタロウが風邪をひき、なんとゲンタロウとゲンキにも風邪がうつり父と子は完治するまでしばらくの間、離れて暮らすことになりました。

担当者より